

2025 年 2 月 10 日

各 位

「SDGs 応援リース」の契約および寄付について

株式会社山形銀行（頭取 佐藤 英司）の 100%子会社山銀リース株式会社（社長 柿崎 正樹）は、株式会社稲毛商事（社長 稲毛 俊介）の SDGs 促進に資する設備導入において、「SDGs 応援リース」を下記のとおり契約いたしました。

また、2025 年 2 月 17 日、当社が受領するリース料の一部と株式会社稲毛商事が拠出する資金を合わせ、河北町立谷地中部小学校に寄付を行うこととなりましたのでお知らせします。

山銀リースの「SDGs 応援リース」はお客さまおよび地域の SDGs 促進を目的に、お客さまと当社が SDGs 促進に積極的な団体等を選定し、リース契約額の 0.2%相当額を当該団体等に寄付するというリース商品です。

当社はこうした取り組みを通じて、お客さまと地域社会の SDGs 促進活動を全力で支援しております。

記

契約企業名	株式会社稲毛商事
代表者	稲毛 俊介
所在地	山形県西村山郡河北町谷地所岡 4 4 9 番地
事業内容	鉄・非鉄・金属の買取、解体 新品および中古農機具等の販売
SDGs 促進に資する導入設備	高性能油圧ショベル(低燃費・低排出ガス)
リース契約概要	契約日 2024 年 8 月 30 日 物件価額 25 百万円 期間 7 年
設備投資企業と寄付先の SDGs への取組等	詳細は別紙 1 参照
寄付贈呈式	日時 2025 年 2 月 17 日(月) 午前 11 時～ 寄付先 河北町立谷地中部小学校 寄付金 200,000 円 詳細は別紙 2 参照
対応する SDGs	<物件による SDGs 促進> 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに  8 働きがいも 経済成長も  11 住み続けられる まちづくりを  12 つくる責任 つかう責任  13 気候変動に 具体的な対策を 

	<寄付による SDGs 促進> 11 住み続けられるまちづくりを  12 つくる責任 つかう責任  13 気候変動に具体的な対策を 
--	---

以 上

本件に関するお問い合わせ先
 山銀リース株式会社 本社営業部
 畠中・加藤
 TEL 023-632-4983

1. 企業概要

- (1) 企業名 : 株式会社稲毛商事
- (2) 代表者 : 稲毛 俊介
- (3) 所在地 : 〒999-3511 山形県西村山郡河北町谷地所岡 4 4 9 番地
- (4) 資本金 : 11 百万円
- (5) 設立 : 2013 年(平成 25 年)8 月 8 日
- (6) 従業員 : 7 名
- (7) 事業内容 : 鉄・非鉄・金属の買取、解体、新品および中古農機具等の販売

2. 「SDGs 応援リリース」について

(1) 高性能油圧ショベル導入による SDGs 促進

- ①排気ガスを抑えた重機を積極的に導入することにより、CO₂ 排出量低減による地球環境の改善を目指し、SDGs 達成目標のひとつである「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」の目標実現に寄与します。
- ②狭い現場にも対応する作業性能や、長時間稼働に適した快適な操縦性能が確保できる他、キャブのエレベーター式昇降機能により作業状態の視認性が改善し、安全性と効率性が向上します。これにより「働きがいも経済成長も」の目標実現に寄与します。
- ③スクラップのリサイクルに役立つアタッチメントを使用し再資源化を促進することで、「つくる責任 つかう責任」の目標実現に寄与します。
- ④環境負荷が低い工事車両を使用することで、排出物の削減と省資源・省エネルギーの推進に努め、自然環境の破壊抑制と CO₂ 排出量低減に貢献します。これにより「気候変動に具体的な対策を」の目標実現に寄与します。

(2) 寄付先と寄付額

寄付先 河北町立谷地中部小学校

寄付額 200,000 円

(3) 本件設備投資により促進が期待される SDGs 目標

- No.7 「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」
- No.8 「働きがいも 経済成長も」
- No.11 「住み続けられるまちづくりを」
- No.12 「つくる責任 つかう責任」
- No.13 「気候変動に具体的な対策を」

(4) 寄付により促進が期待される SDGs 目標

- No.11 「住み続けられるまちづくりを」
- No.12 「つくる責任 つかう責任」
- No.13 「気候変動に具体的な対策を」

3. 株式会社稲毛商事における SDGs への取り組み

(1)鉄・非鉄金属・中古農機具等の買い取りを継続し、資源をリサイクルすることで必要不可欠で貴重な金属資源を守っています。また、不要な金属・家電製品を手軽に処分できる受け皿となることで不法投棄を防ぎ、美しいまちづくりと住み続けられるまちづくりに貢献しています。

(2)状態が良く再販売が可能なものは再利用し、再販売が難しいものについては、部品ごとに分別し再資源化を行っています。確立されている「状態に応じた販路」を有効活用し、廃棄物を限りなくゼロにすることにより、循環型社会の実現に貢献します。また再資源化した部品の流通拡大により、産業廃棄物の抑制や CO2 排出量低減に寄与します。

(3)資源買取業者や解体業者など、SDGs 促進に積極的な全国的な業者連携により、持続可能な社会の実現に向けた活動を行っています。

また、日本に限らず海外に販路を持つ事業者との連携により、リサイクル品の輸出を実現し、国境を越えた環境負荷軽減を目指しています。

4. 河北町立谷地中部小学校における SDGs への取り組み

日頃の食育活動や各教科学習において関連する題材を掘り下げて調べる活動の他に、近年は以下のような SDGs 関連の具体的活動を行っています。

(1)「住み続けられる町づくりを」のスローガンに対し「自慢の町をPRする活動」として、「山形県の空の玄関口である山形空港内PRスペースの活用策」を河北町役場へ提案した他、「子供たちのアイデアが詰まった各種試作品」を河北町役場へ提供。

(2)「つくる責任 つかう責任」のスローガンを掘り下げる研究として、再生プラスチックを使用してのガンブラ製作活動実施。

(3)「産業と技術革新の基盤を作ろう」のスローガンを掘り下げる研究として、発泡スチロールを活用する社会づくりの講話受講。

(4)「飢餓をゼロに」のスローガンを掘り下げる研究として、収穫した米をどう活用していくかに焦点を当てたディスカッション実施。

(5)新聞記事と SDGs の各目標との関連性を考え、目標達成のための意見を発表し合う NIE 教育活動実施。

寄付金贈呈式について

1. 日 時：2025 年 2 月 17 日（月） 午前 11:00～ 30 分程度
2. 場 所：河北町立谷地中部小学校 校長室
3. 出席者：株式会社稲毛商事 代表取締役 稲毛 俊介 様
河北町立谷地中部小学校 校長 小山田 聡 様
山銀リース株式会社 代表取締役 柿崎 正樹
同上 本社営業部 主任 畠中 利明
4. 寄付金：200,000 円
(当日は目録交付とさせていただきます)

報道機関各位には、是非とも取材協力いただきたくお願いいたします。

以上